

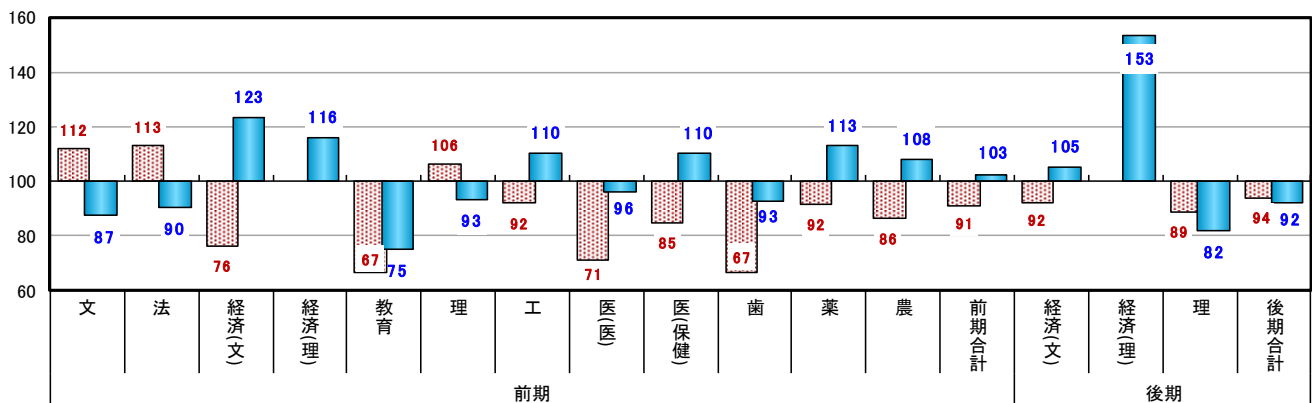
# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

東北大：前期はやや増加、後期は2年連続減少

前期：+115人 後期：-103人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2020年度/2019年度 ■ 2021年度/2020年度



## 入試変更点

書類提出：全学部<前><後>…主体性評価チェックリスト追加  
 主体性評価については、志願票に調査書と対応した5項目のチェック項目を設け、志願者がこれをチェックする自己申告方式により評価する。合否ラインで志願者が同点で並んだ場合に使用。

第1段階選抜基準変更：理<後>…約20倍(通過予定人数：1,160人)→約10倍(通過予定人数：580人)

募集人員：文<前>…170人→147人 法<前>…118人→112人  
 経済(文系)…<前>155人→147人、<後>30人→25人  
 教育…<前>60人→49人 農…<前>112人→105人  
 医(保健/放射線技術科学)…<前>29人→25人 医(保健/検査技術科学)…<前>29人→25人

共通テスト：経済(文系)<前>…国<100>+歴公2<200>+数2<100>+(理 or 理基2)<100>+外<100>=総点<600>  
 →国<100>+歴公2<250>+数2<100>+(理 or 理基2)<100>+外<100>=総点<650>  
 経済(理系)<前>…国<150>+歴公2<100>+数2<150>+理2<100>+外<100>=総点<600>  
 →国<150>+歴公2<100>+数2<150>+理2<100>+外<150>=総点<650>

個別試験：経済(文系)<前>…国<200>+数<200>+外<200>=総点<600>→国<300>+数<300>+外<300>=総点<900>  
 経済(理系)<前>…数<200>+理<200>+外<200>=総点<600>→数<300>+理<300>+外<300>=総点<900>  
 理<後>…数+理2→数+理2+面 ※面接追加 歯<前>…数+理2+外→数+理2+外+面 ※面接追加

## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は、115人(103)のやや増加で3年ぶりに増加。募集人員減少の影響はなかった。文理別では、文系は55人(96)のやや減少で3年連続減少、理系は170人(106)のやや増加で3年ぶりに増加。後期は、103人(92)のやや減少で2年連続減少。

### <前期日程>

- 文(87)は、募集人員の減少と前年度増加の反動により減少したが、募集人員(前年度募集人員対比指数86)も減少したため、競争緩和はなく志願倍率は2.7倍で変化なし。
- 法(90)は、募集人員の減少と前年度増加の反動により減少したが、募集人員(前年度募集人員対比指数95)も減少したため、競争緩和はほとんどなく志願倍率は3.1倍→3.0倍のわずかなダウンに留まった。
- 経済(123)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。方式別では(文系)(123)は大幅増加に加えて、募集人員(前年度募集人員対比指数95)の減少もあり、志願倍率は2.2倍→2.9倍にアップ。新設2年目の(理系)(116)は周知が進んだこともあり、大幅増加で志願倍率は3.6倍で(文系)の2.9倍を上回った。
- 教育(75)は、2年連続大幅減少したが、募集人員(前年度募集人員対比指数82)も減少したため、競争緩和は小さく志願倍率も2.9倍→2.7倍にわずかなダウンに留まった。
- 理(93)は、2年連続増加の反動でやや減少。志願倍率も2.8倍→2.6倍にわずかにダウン。系別では、地球科学系(103)がやや増加、一方で、物理系(91)、数学系(91)は減少、生物系(94)、化学系(95)はやや減少。
- 工(110)は、2年連続減少の反動で増加。志願倍率も2.5倍→2.8倍にアップ。学科別では、5学科全てが増加し、特に(電気情報物理工)(117)、(化学・バイオ)(115)は大幅増加。
- 医(医)(96)は、やや減少で4年連続減少。前年度、全学部・学科で唯一2段階選抜が実施されたが、志願倍率は3.2倍で予告倍率約3倍を超えたことで、2段階選抜が実施された。
- 医(保健)(110)は、3年連続減少の反動で増加。募集人員(前年度募集人員対比指数93)も減少したため、志願倍率は2.1倍→2.5倍にアップ。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(167)、(保健/検査技術科学)(138)の2専攻が大幅増加、一方で(保健/看護)(75)は大幅減少。
- 歯(93)は、前年度大幅減少に引続き2年連続減少。志願倍率も5.0倍→3.4倍→3.1倍にダウン。
- 薬(113)は、2年連続減少の反動に加えて、系統人気の高まりもあり増加。
- 農(108)は、募集人員減少の影響はなく、2年連続減少の反動で増加。

### <後期日程>

- 経済(111)は、2年連続増加。方式別では(文系)(105)は、(文系)のみの募集だった時代から2年連続減少の反動からやや増加。募集人員(前年度募集人員対比指数83)も減少したため、志願倍率は14.3倍→18.0倍にアップ。新設2年目の(理系)(153)は周知が進んだこともあり大幅増加で、志願倍率も5.8倍→8.9倍にアップ。

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

○理(82)は、コロナ禍の影響で遠隔地からの志願者減少の影響もあり2年連続減少。志願倍率も15.0倍→12.3倍にダウン。系別では、全ての系が減少で、特に(生物系)(65)、(地球科学系)(68)、(物理系)(81)は大幅減少。